

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒164-8701
 住 所 東京都中野区中野4丁目3番2号
 氏 名 株式会社丸井 印
 代表取締役社長 中村 正雄
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 丸井		
主たる事務所 又は事業所の所在地	210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町1-11		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		5,396 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	株式会社 丸井グループ CSR推進部
		所在地	東京都中野区中野4丁目3番2号
	電話番号		03-3384-0101
	FAX番号		03-5343-6622
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	・丸井グループの地球温暖化対策の取組みについては、ホームページにてCSRレポートを公表しています。 http://www.0101maruigroup.co.jp/csr/csr_top.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 10,054 t-CO ₂ (調) 8,949	(実) 9,988 t-CO ₂ (調) 8,921	(実) 8,750 t-CO ₂ (調) 7,853	(実) 9,217 t-CO ₂ (調) 8,276	(実) 9,752 t-CO ₂ (調) 8,681
削減率		(実) 0.7 % (調) 0.3	(実) 13.0 % (調) 12.2	(実) 8.3 % (調) 7.5	(実) 3.0 % (調) 3.0

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積×営業時間		単位		t-CO ₂ /万m ² ×h	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値	
排出原単位等の値	0.3806	0.3924	0.3395	0.3742	0.3692	
削減率		-3.1 %	10.8 %	1.7 %	3.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	・エネルギー管理の推進で電気使用量は3%削減し、この結果排出量は全体で0.7%の削減となったが、その他熱量の増加を含めて全体では、営業時間の短縮影響の方が大きく、原単位の改善がはかれなかった。
第2年度	・エネルギー管理の推進や省エネの徹底により、電気使用量は13.4%削減、この結果排出量は全体で12.4%の削減となり原単位の大幅な改善がはかれた。
第3年度	第3年度状況：前年度の省エネ対策を基本的には継続したものの、顧客対応とのバランスを考慮して売場照明の間引き率等が上昇、結果として前年比排出量が4.7%増加した。 3年間の総括：空調機のインバータ化、空調の稼働制限、照明や空調温度の細かな調整等の省エネ努力により基準年度比排出量を8.3%削減で目標を大幅にクリアした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>◎エネルギー排出量原単位を年平均で1%以上削減することを前提として目標として設定。 全社で継続的な削減を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・削減に関しては、売場や後方照明の間引き、店外のネオンサインや照明の消灯を実施。 ・各事業所において、空調設備の運転時間、照明の点灯・消灯の運用管理を徹底、設備担当との連携により効率化をはかる。 <p>◇2012年度丸井のエネルギー排出量（原油換算）原単位は前年度比4.6%上昇</p>

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ◎空調・照明設備、機器のハード・ソフト両面の効率化を推進 ・ E S C O 事業による空調機のインバータ化、 ・ 高効率照明器具へ順次変更、点灯・消灯時間の効率化
	第 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調機のインバータ化を実施〔川崎店〕によるエネルギー使用の効率化で、電気使用量は前年対比約 5 %削減。 ・ 売場照明の間引き、冷温水発生機のカス利用の効率化、機器の間欠運転等を実施 ・ 震災以降は積極的に節電対応を強化
	第 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏期の節電対応も踏まえ、照明の間引き・店外ネオンサインの消灯、空調機器の運転時間の調整等、省エネルギー対応を強化。照明減による放熱減で空調効率も向上。排出量は大幅に削減。
	第 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年の省エネ対策で継続できるもの(事務所照明や空調の稼働制限、売場照明や空調温度の細かな調整等)は実施したものの、前年度の電力使用制限令対応には及ばず、エネルギー使用量は上昇、CO2 排出量も排出係数の上昇もあり増加となるが、第 1 計画期間をとおしては目標はクリアした
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	◎ビサルノ・カーボンフットプリントシャツ&カーボンオフセット ・自主ブランド「ビサルノ」のビジネスシャツをカーボンフットプリントに。同時にこのシャツをご購入いただいた際に、このシャツの生産過程等で発生するCO2排出量5916gの10%分をカーボンオフセットするキャンペーンを2010年春から実施しています。 (1着で約590gのCO2をオフセット)
第1年度	◎ビサルノ・カーボンフットプリントシャツ&カーボンオフセット ・対象商品5万着販売 ⇒ CO2オフセット 約30トン
第2年度	◎ビサルノ・カーボンフットプリントシャツ&カーボンオフセット ・対象商品5万着販売 ⇒ CO2オフセット 約30トン
第3年度	◎ビサルノ・カーボンフットプリントシャツ&カーボンオフセット ・対象商品1.5万着販売 ⇒ CO2オフセット 約10トン ◎第1期計画期間ではカーボンオフセットにより、合計70トンのCO2をオフセットしました

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	・レジ袋削減キャンペーンの実施・可燃ゴミと紙類(ミックス [®] -パ [®])の分別強化・自治体との連携 ・「チャレンジ25キャンペーン」の参加による、クールビズ、ライトダウンキャンペーンの実施 ・愛の救援衣料(衣料品回収)の開催
第1年度	・レジ袋削減キャンペーンの実施(ファミリー溝口)・愛の救援衣料(衣料品回収)の開催 〔川崎 5月/溝口 10月〕 ・クールビズ、ライトダウンキャンペーンの実施
第2年度	・レジ袋削減キャンペーンの実施(ファミリー溝口) ・被災地支援「衣料品の下取りチャリティー」実施 *従来のリユースの取組みを活用し、店頭でお預かりした衣料品を東北の被災地に寄贈。 〔川崎店、ファミリー溝口 5月~12月 3回実施 〕 ・クールビズ、ライトダウンキャンペーンの実施
第3年度	・レジ袋削減キャンペーン(ファミリー溝口)、被災地支援「衣料品の下取りチャリティー、(川崎店、ファミリー溝口 5月~12月 4回実施)、 クールビズ、ライトダウンキャンペーンの実施 ・第1期計画期間では、レジ袋削減キャンペーン・クールビズ・ライトダウンキャンペーン参加・救援衣料回収活動を3年連続で実施し、 会社をあげて温暖化防止活動を地道に行った。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	8,810	t-CO ₂
(調)	8,806	

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
丸井ファミリー溝口	神奈川県川崎市高津区溝口1-4-1ノクティ2	5611	小売業	6,408 t-CO ₂
0	0	0	0	t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
丸井川崎店	神奈川県川崎市川崎区日進1-11	5611	小売業	2,402 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--